

令和4年度の田んぼ活動

脱穀(だっこく)

令和4年9月24日大雨警報発令、作業中止

10月1日(土曜日)に延期9:30～

とても良い天気でした。

作業棟の前に大きなビニルシートを引き、脱穀機、唐箕(とうみ)を並べての作業です。

機械ではできない細かい作業は、みんなで手分けしてやりました。

大人も子どももできる作業を探して取り組みました。

足ふみ脱穀機での脱穀

足でペダルを踏みドラムを回転させながら干した稲の束から、稲を取ります。



脱穀をしたとき、稲が取り切れず残った藁と一緒に巻き込まれることがあります。



脱穀機で脱穀したものを、手作業でさらに藁ともみに分けていきます。



唐箕（とうみ）で粳と、そのほかのものを分けます。

・脱穀機で粳をイネ藁から外し、唐箕で風を起こしながら粳を落とすと、軽いゴミなどが吹き飛ばされ、粳だけが飛ばされずに集めることができます。



唐箕でゴミを吹き飛ばしたもみは小さな目の網に乗せて、石や虫を取り除きます。

きれいなお米をネットに入れます。



脱穀機、唐箕の作業でビニルシートには、稲穂から落ちたもみがいっぱいです。いつの間にか、お父さんたちがやることを見ていたのですね。子どもたちがきれいに掃き集めてくれていました。



作業は大変でしたが、脱穀も子どもたちも体験できました。
藁に交じていた粃も丁寧に取り出しました。
みなさん最後まで、安心して食べられるように、きれいにして袋に詰めました。
今年は昨年より多くお米が取れました。
みんなで頑張って取り組んだおかげですね。
残りの作業は、荒起こし、堆肥撒きです。餅つきもできるとよいのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために自粛中で残念です。

